



Be the **Right ONE**

ブラジル穀物事業における課題と提言

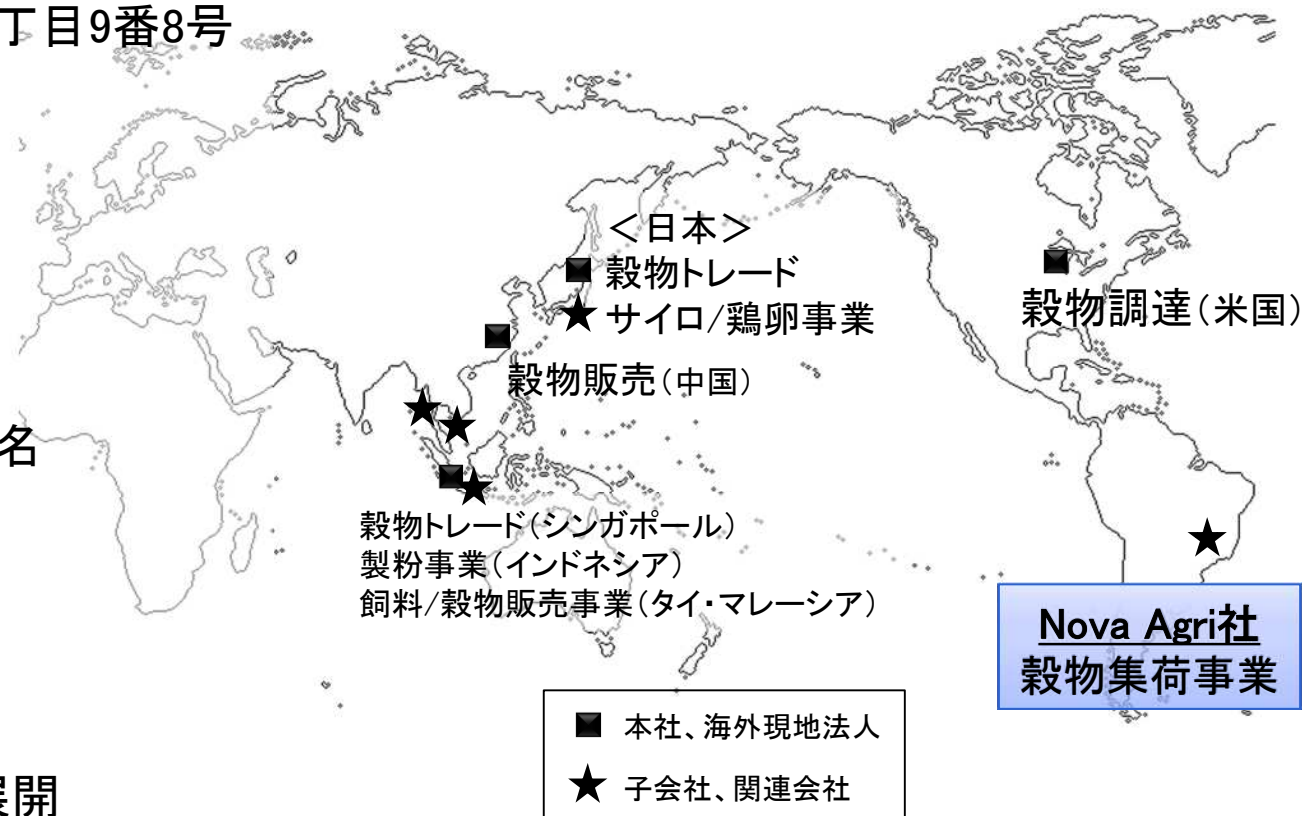
2020年11月6日
豊田通商株式会社
穀物第二部

会社概要

豊田通商株式会社

- ① 設立: 1948年
- ② 本社所在地: 名古屋市中村区名駅四丁目9番8号
- ③ 取締役社長: 貸谷伊知郎
- ④ 資本金: 649億3千6百万円
- ⑤ 主要株主:
トヨタ自動車(株)21.69%、
(株)豊田自動織機11.18%他
- ⑥ 従業員数単体: 3,439名、連結: 66,067名
(出向者を含み、受入出向者を除く)
- ⑦ 連結会社数連結対象会社: 1,012社
(子会社: 782社、関連会社: 230社)
*(2020年3月末時点)
- ⑧ 海外ネットワーク: 約120か国で事業展開

<穀物事業関連の拠点>



世界の穀物貿易量

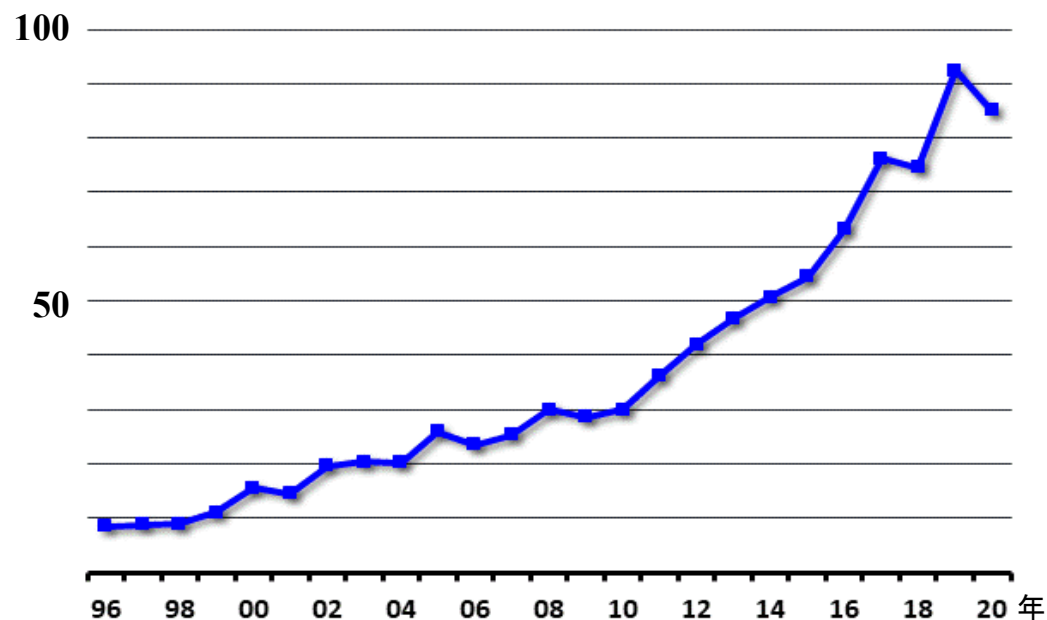
- ✓ ブラジル・米国・アルゼンチンで世界の大豆・コーン貿易量の約8割
- ✓ ブラジルが世界の穀物貿易量の成長を牽引

主要国の大豆・コーン輸出量

輸出国	2018/19年度		2019/20年度	
	百万トン	%	百万トン	%
ブラジル	114	35%	128	38%
米国	100	30%	91	27%
アルゼンチン	46	14%	47	14%
その他	69	21%	71	21%
世界全体	329		336	

出展：米国農務省(USDA)

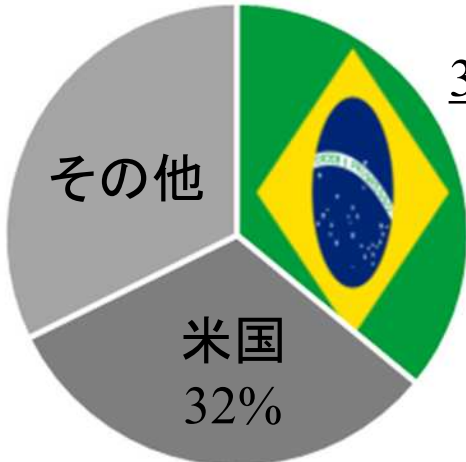
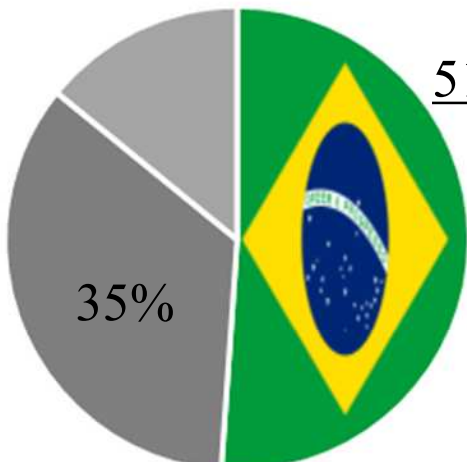
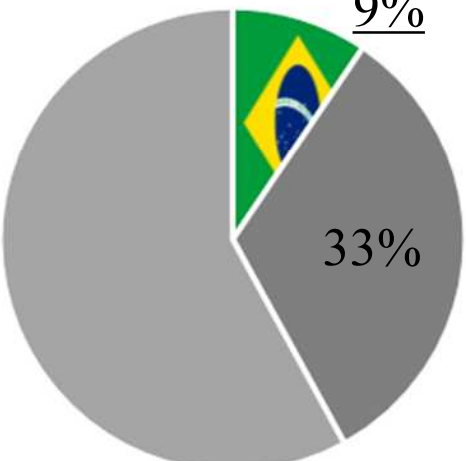
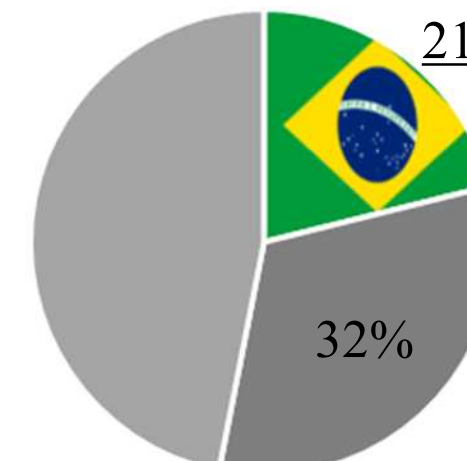
ブラジルの大豆輸出量推移 単位：百万トン



出展：CME Group

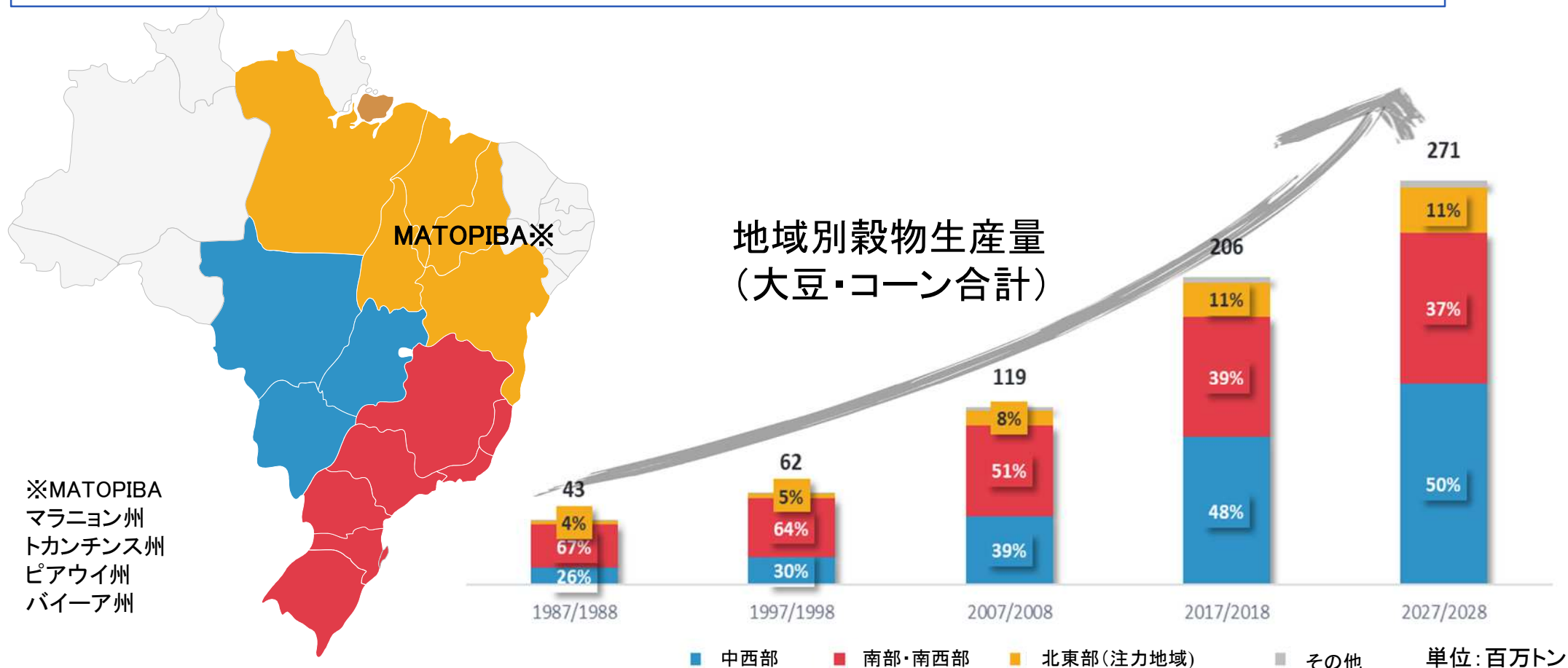
穀物供給におけるブラジルの重要性

注)2020/21年度産予想値

	生産量	輸出量	備考
大豆	 36% その他 米国 32% (世界 370百万トン)	 51% 35% (世界 166百万トン)	大豆生産量・輸出量ともに <u>米国を抜いて世界1位</u> <u>輸出量では過半</u>
コーン	 9% 33% (世界 1,162百万トン)	 21% 32% (世界 186百万トン)	コーン生産量・輸出量は <u>米国に次ぐ世界2位</u> 出展：米国農務省(USDA)

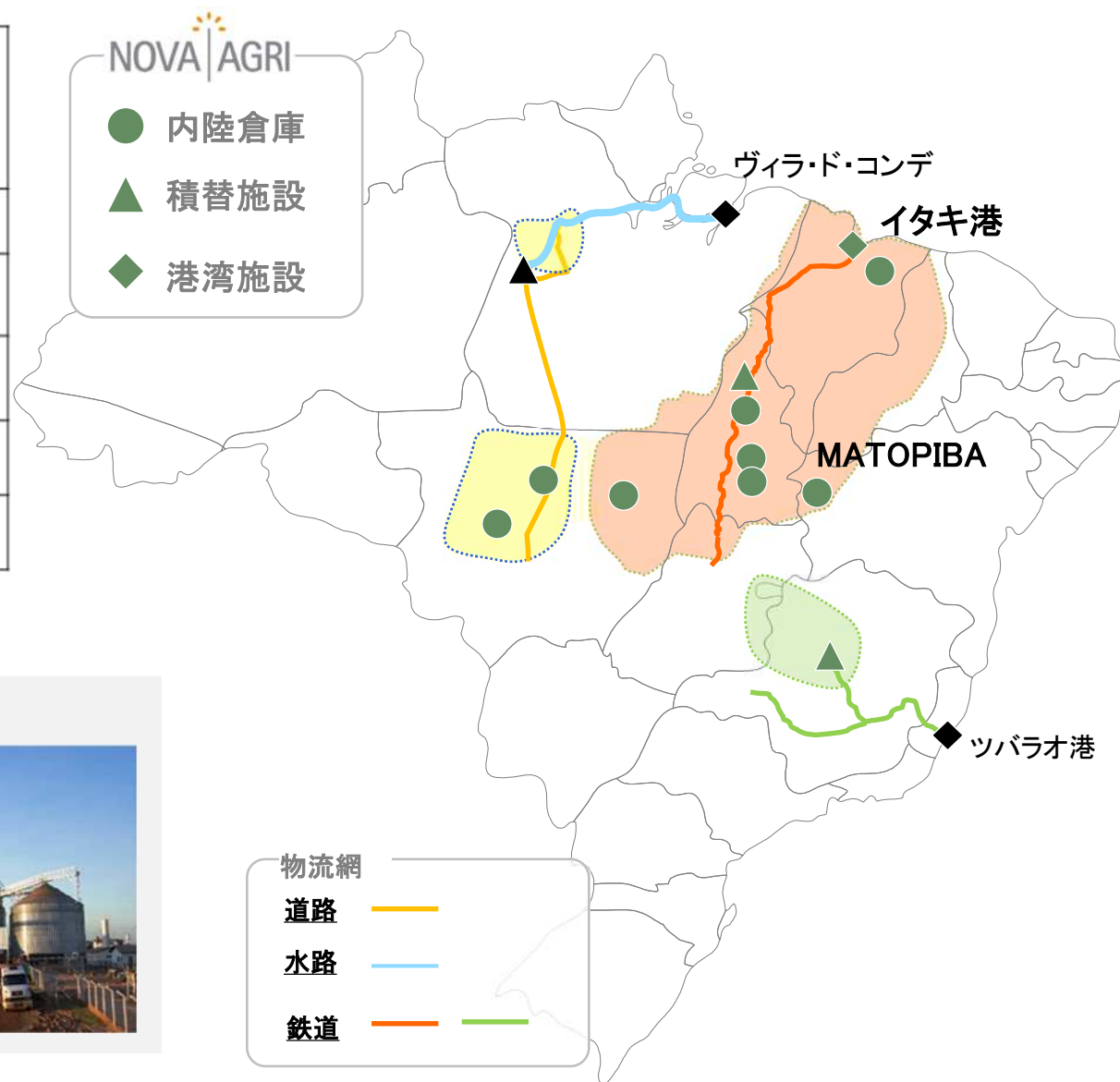
ブラジルの地域別穀物生産量

- ✓ 過去10年で中西部の穀物生産量は急増
- ✓ 北東部(当社注力地域)は生産拡大の『最後のフロンティア』



弊社のブラジルでの穀物集荷拠点

会社名	NOVAAGRI INFRA-ESTRUTURA DE ARMAZENSAGEM E ESCOAMENTO AGRICOLA S.A. (ノバアグリ社)
設立	2007年7月
資本金	231百万 BRL (ブラジルリアル)
出資比率	豊田通商 100%
事業内容	ブラジル中・北東部で、穀物集荷、物流施設運営
従業員数	301名 (2020年3月末)



内陸倉庫



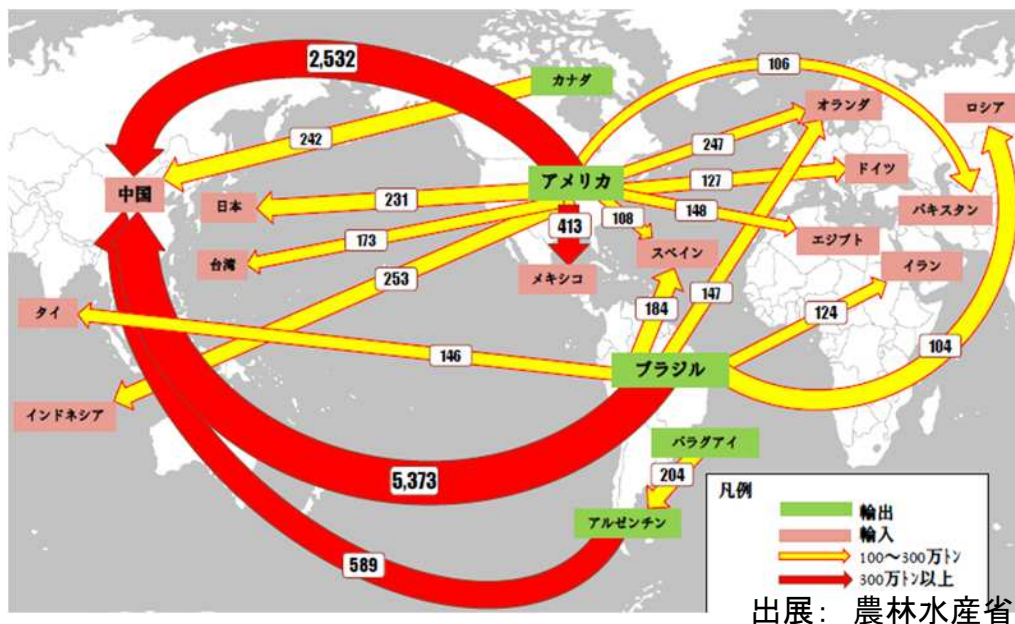
積替施設



食料安定調達・供給継続の課題

- ✓ 穀物輸出は中国への一極集中が強まる
 - ブラジル産大豆の8割以上が中国向け
- ✓ 農家からの穀物調達におけるリスク・使用資金の増大
 - 農家ではなく集荷業者が資金負担

大豆の需給動向と貿易フロー(2017年) 単位:万トン



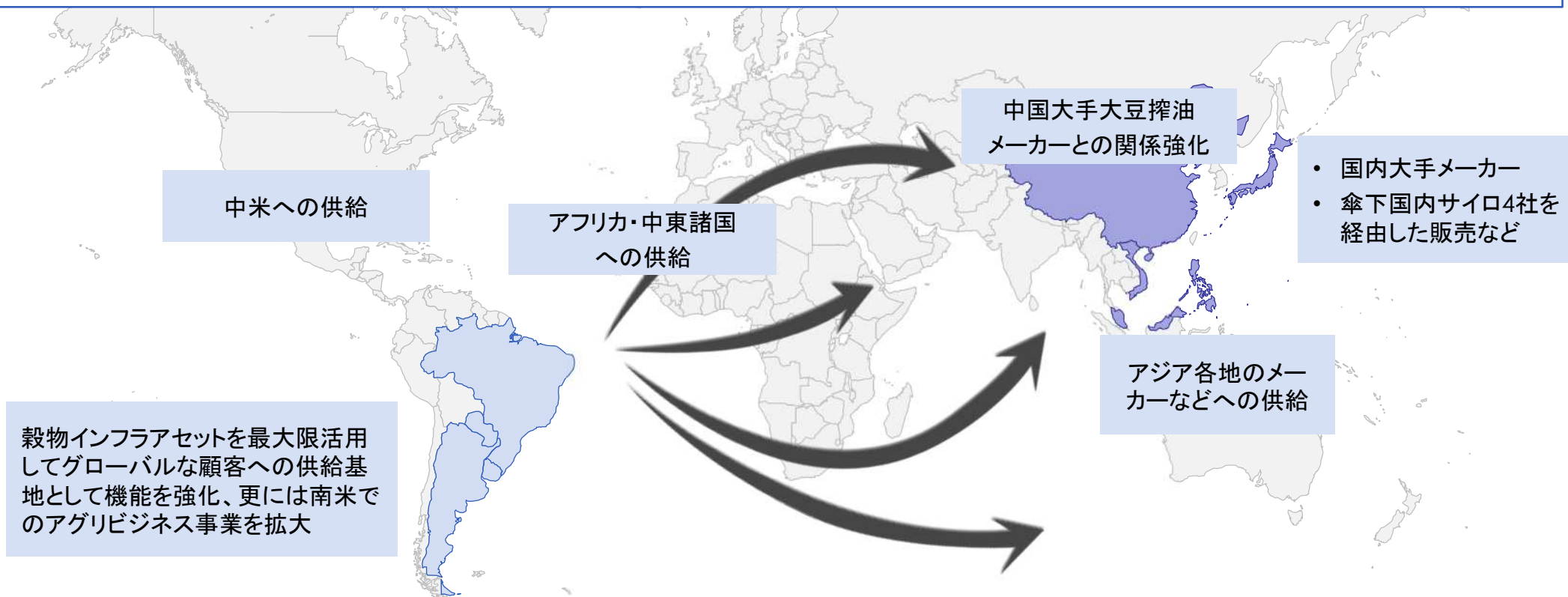
ブラジル産穀物 仕向地別輸出量 2020年実績

単位:千トン				
国	穀物全体	大豆	コーン	その他
1 中国	58,757	58,718	0	39
2 スペイン	6,211	3,302	1,992	917
3 オランダ	4,538	2,589	402	1,546
4 タイ	4,140	2,028	58	2,054
5 イラン	3,511	760	2,732	19
6 韓国	3,323	552	1,333	1,437
7 ベトナム	3,140	697	1,872	571
8 日本	2,907	335	2,170	401
9 トルコ	2,389	1,970	171	248
10 台湾	2,322	745	1,577	0
その他	22,360	7,527	7,796	7,038
合計	113,598	79,225	20,103	14,270

出展: Agência Marítima Cargonave Ltda

弊社の取り組み・努力

- ✓ 農家へのワンストップサービス充実による長期的な関係を構築
(Moratoria da Soja遵守＝環境保全・持続可能性に配慮)
- ✓ 穀物グローバルバリューチェーンを構築、効率的な運営を行うことでライフラインを守る
(食料安定供給の実現)



弊社の取り組み・努力

✓ 港湾施設の輸出設備能力拡大（2020年9月に工事完了）



設備拡大部分



日本政府・GFVC中南米部会への提言

- ✓ MATOPIBA地域のような新興農業地域において、大豆・コーン等の農家に対する支援策の提供
 - ・ 農家に対するファイナンススキームなど（環境配慮への優遇含め）
- ✓ ブラジルの穀物や油が国際市場において競争力を得るために必要な国内物流費用低減のための支援策の提供
 - ・ オペレーション改善のためのIOT技術等の支援（技術・資金）
 - ・ 取扱量拡大・安定化のための新規投資にかかる融資支援
- ✓ 緊急事態における日本としての穀物安定調達先の確保
 - ・ ブラジルとの協定締結（日本裨益）